

各アドホックグループにおける 干渉検討対象無線局一覧

固定・放送アドホックグループ

センサーUWBと周波数を共用する固定マイクロ通信・放送に利用されている無線局数は以下のとおりである。(平成18年の委員会報告時の無線局数との差分を含む。)

固定マイクロ(平成24年4月)

周波数帯(GHz)	局数 (報告書との差分)
3.6GHz~4.2GHz	17 (-620)
4.4GHz~5.0GHz	13 (-627)
5.85GHz~6.57GHz	230 (-357)
6.57GHz~7.125GHz	3832 (+447)
7.125GHz~8.5GHz	3843 (+850)
10.7GHz~11.7GHz	8458 (+2853)
11.7GHz~13.25GHz	1875 (-213)
14.4GHz~15.23GHz	3794 (+2743)
17.7GHz~19.7GHz	5527 (+4807)

放送システム

○STL/TTL/TSL/FPU(平成24年5月)

周波数帯(GHz)	局数(STL/TTL/TSL)	局数(FPU)	局数(合計) (報告書との差分)
3.4GHz~3.6GHz	410	7	417 (-378)
5.85GHz~7.75GHz	1340	3163	4503 (-758)
10.25GHz~13.25GHz	325	2318	2643 (+697)

○BS放送(平成22年3月*)

周波数帯(GHz)	局数 (報告書との差分)
11.7GHz~12.2GHz	約2340万 (+340万)

*衛星方法の現状[平成23年度第4四半期版]
総務省 衛星・地域放送課

航空・海上・レーダーアドホックグループ

センサーUWBと周波数を共用する気象・海上・航空・レーダに利用されている無線局数は以下のとおりである。(平成18年の委員会報告時の無線局数との差分を含む。但し、海上・航空レーダーについては、報告書に無線局数の記載なし。)

気象レーダー(平成23年1月)

周波数帯(GHz)	局数 (報告書との差分)
5GHz帯	65 (+6)
9.7GHz	34 (+31)

航空・海上レーダーについては、具体的な使用周波数でなくセンサーUWBが使用するハイバンド(7.25GHz~10.25GHz)における無線局数を計算。

海上レーダー

周波数帯(GHz)	局数 (海岸局、船上通信局、特定船舶局、海岸地球局)
7.25GHz~10.25GHz	2001

航空レーダー

周波数帯(GHz)	局数 (航空機局)
7.25GHz~10.25GHz	1035

衛星・小電力アドホックグループ①

センサーUWBと周波数を共用する衛星・DSRC・アマチュア・電波天文に利用されている無線局数は以下のとおりである。(平成18年の委員会報告時の無線局数との差分を含む。)

DSRC

周波数帯(GHz)	局数 (報告書との差分)
5.8GHz	約4,800万(端末局、平成24年4月) (+3,800万)
	約2,000(基地局、平成21年4月) (+0)

アマチュア無線局(平成24年5月)

周波数帯(GHz)	局数 (報告書との差分)
5.65GHz~5.85GHz	2001 (-924)
10.0GHz~10.25GHz	1972 (-233)
10.45GHz~10.5GHz	1517 (-688)

国立天文台(平成24年6月)

* 詳細は確認中

周波数帯(GHz)	指定受信設備数 (報告書との差分)
4.8GHz~4.99GHz	3 (0)
4.99GHz~5.0GHz	3 (0)
10.6GHz~10.7GHz	4 (0)

衛星・小電力アドホックグループ②

固定衛星業務(報告書と変化なし)

	周波数/周波数帯 (MHz)	局数(局)	備考(運用状態などの特記事項)
Cバンド	4150、4165、4180	計5局	アンテナ仰角13～45度
Cバンド	3400～4200	15	受信専用局、送受信局等を含む
Kuバンド	12200～12750	約6,400	送受信局(固定局、VSAT、可搬局等を含む)
		約390万	受信専用局(CS放送) CS放送については4-3節参照
Cバンド	3625～4200(受信)	5	離島通信システム
Kuバンド	12240～12750	10(8局は車載)	デジタル映像通信用衛星通信システム、運用は日本全国
		約120台	災害対策用システム(基地局+可搬局)、運用は日本全国
		約1100台	連絡無線システム(全国各地の可搬あり)、運用は日本全国
Kaバンド	18045～19447	数十局	可搬局を含む
Kuバンド	12200～12750		受信専用機, VSAT, 可搬局等を含む
Cバンド	3625～4200	9	固定衛星地球局

衛星・小電力アドホックグループ③

移動衛星業務

	周波数帯 (MHz)	局数(局)	備考(運用状態などの特記事項)
Lバンド	1525～1559	約12,000	インマルサット地球局等
Cバンド	3599～3629	3	海岸地球局等
Xバンド	7250～7375		移動衛星地球局
N-STAR 移動衛星通信 システム (ワイドスター)	2505～2535 (Sバンド)	約44,000	携帯移動地球局受信周波数帯
	4124～4196 (Cバンド)	2	携帯基地地球局受信周波数帯

無線航行业務

	周波数／周 波数帯 (MHz)	局数(局)	備考(運用状態などの特記事項)
準天頂衛星	1164～1189	複数	2010年打ち上げ
	1217～1238		
	1258～1300		
	1565～1586		
GPS	1575.42	1915万	

衛星・小電力アドホックグループ④

地球探査衛星業務(平成24年6月)

周波数(帯域幅) (MHz)	局数(局)	備考(運用状態などの特記事項)
10650(100)	1	1997年～ TRMM/TMI(米国・日本)
6925(350)	1	2002年～ Aqua/AMSR-E(日本)
10650(100)		
6800(125)	1	2003年～ Coriolis/WindSat(米国)
10700(300)		
6900(350)	1	2007年～ Kanopus-Vulkan/MTVZA-OK(露)
10600(100)		
10650(180)	2	2008年～ FY-3A、FY-3B/MWRI(中国)
6925(350)	1	2012年～ GCOM-W1/AMSR-2(日本) 3世代継続、計13年以上運用予定
7300(350)		
10650(100)		
9650(300)	1	2007年～ TerraSAR-X/SAR(ドイツ)
9600(400)	4	2007年～ COSMO-SkyMed 1～4/SAR(イタリア)
9650(300)	1	2010年～ TanDEM-X/SAR(ドイツ)
8025～8400	多数	観測データ伝送用 GOSAT、GCOM-W1他

衛星・小電力アドホックグループ⑤

地球探査衛星の将来計画

周波数(MHz)	局数(局)	備考(運用状態などの特記事項)
10600	1	2012年～ Meteor-3M/MTVZA(露)
10650	1	2013年～ GPM/GMI(米国・日本)
10650	3	2012年～ FY-3C、FY-3D、FY-3F/MWRI(中国)
1413	1	2007年～ SMOS/MIRAS(欧州)
1413	1	2009年～ Aquarius(米国・アルゼンチン)
1410	1	2009年～ HYDROS(米国)
9600	1	2016年～ TerraSAR Next Generation/SAR(ドイツ)
9600	1	2017年～ COMPIRA/SAR(日本)
8025～8400	多数	観測データ伝送用 ASNARO、ALOS-2、GCOM-C1他

宇宙研究業務(深宇宙含む)

周波数(帯域幅) (MHz)	局数(局)	備考(運用状態などの特記事項)
8400～8500	5	GEOTAL、ASTORO-E2、SOLAR-B、IKAROS、PLANET-C
8400～8500 (将来計画)	3	MMO、ASTOR-H、HAYABUSA-2